■横光利一　　小説家。戦時下に流行作家となり，「旅愁」を連載するうち，<敗戦>で戦争責任を問われ，心身疲労で早世。
よこみつりいち
子規句歌革新1898＝　　大分の出身の父が土木関係の仕事のため，福島県会津にいた時に長男として生れた。

幼少時は父とともに各地を転々とする。

日露戦争終・1905＝　7歳：

韓国反日暴動1907＝　**9歳：**

大逆事件判決1911＝13歳：三重県立第三中学校に入学。
明治天皇没・1912＝14歳：
父の転勤後は下宿，スポーツを中心に活動。宮田おかつを知る。

民本主義・・1916**＝18歳：**第三中学校を卒業し，上京して早大高等予科に入学するが，神経衰弱となって京都の父母の所に帰る。
ロシア革命・1917＝19歳：早大を除籍になる。**_{文章世界}{万朝報}へ投稿した小説が入選して掲載される。**
本格政党内閣1918＝20歳：復学し，小説の他，詩の投稿を行う。
ﾍﾞﾙｻｲﾕ条約・1919＝21歳：菊池寛を知る。同期生の妹，小島キミを知る。

原敬首相暗殺1921＝23歳：早大政治経済学科へ編入。**_{時事新報}の懸賞小説で2等。富ノ沢麟太郎，中山義秀らとの同人雑誌{街}，**
水平社結成・1922＝24歳：**_{塔}を創刊。父が仕事先の朝鮮で客死したため，渡鮮。**
関東大震災・1923＝25歳：小島キミと同棲。***菊池寛が創刊した{文芸春秋}に迎えられ，早大を中退して同人となり，「日輪」「蠅」を発表して文壇に登場。「悲しみの代価」**
護憲三派圧勝1924＝26歳：***「日輪」「御身」を刊行。川端康成，片岡鉄兵らと{文芸時代}を創刊，既成のリアリズムに対して新しい表現を目指し，新感覚派の文学運動を展開。プロレタリア文学にも対抗した。**
治安維持法・1925**＝27歳：**母が死去。キミが結核で倒れる。**_「日輪」が映画化されたが，検閲で上映禁止(翌年一部カットして上映)。**
円本時代始・1926＝28歳：キミが死去。**_新感覚派の時期の代表作「ナポレオンと田虫」「春は馬車に乗って」。**
金融恐慌・・1927＝29歳：日向千代と再婚。**_川端康成，片岡鉄兵らと{手帖}を創刊。戯曲集「愛の挨拶」を刊行。**
共産党事件・1928＝30歳：**_最初の長編小説「上海」の断続的な連載開始。プロレタリア派の蔵原惟人らと，翌年にかけて文学の形式と内容に関して"形式主義文学論争"が交わされた。**
世界恐慌・・1929＝31歳：**_川端康成，堀辰雄らと{文学}を創刊。**
海軍軍縮条約1930＝32歳：「高架線」刊行。「寝園」の連載開始。**_しだいに心理主義の手法を示し，「機械」，**
満州事変・・1931＝33歳：***「時間」などを書く。「寝園」の成功によって流行作家の地位を占めた。「上海」が完結。**
国際連盟脱退1933＝35歳：「横光利一集」刊行。
帝人疑獄事件1934**＝36歳：**ついで「紋章」「時計」，
芥川直木賞始1935＝37歳：「家族会議」などには日本回帰の作風があらわれた。**_"純文学にして通俗小説"を提唱した「純粋小説論」が文壇で大きな反響を呼ぶ。この年制定された芥川賞の選考委員になる。**
二二六事件・1936＝38歳：「横光利一全集」刊行開始。**_渡欧。**
日中戦争始・1937＝39歳：**_このときの見聞にもとづいて，長編「旅愁」の連載を始める。**
日米開戦・・1941＝43歳：

創価学会検挙1943**＝45歳：**
この間，**_「旅愁」を断続連載し，部分ごとに逐次刊行。戦局が深まると，文学者としての報国運動に参加。**
敗戦・・・・1945＝47歳：

新憲法施行・1947＝49歳：戦後の問題作には敗戦日記とみられる「夜の靴」と「微笑」がある。***戦争責任者との指弾を受け，心身の疲労が重なって没した。書き継がれて来た「旅愁」はついに未完に終わる。**

新潮日本文学アルバム，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，「目でみる日本人物百科」，